

## 出生数、死亡数、婚姻・離婚件数等の前年比較（福岡県）

	実 数			率 1)		平均発生間隔	
	平成20年	平成19年	対前年増減	平成20年	平成19年	平成20年	平成19年
						時 分 秒	時 分 秒
出 生	46,695	46,393	302	9.3	9.2	11' 17"	11' 20"
男	23,915	23,842	73	10.1	10.0	22' 02"	22' 03"
女	22,780	22,551	229	8.6	8.5	23' 08"	23' 18"
死 亡	45,134	43,919	1,215	9.0	8.8	11' 41"	11' 58"
男	23,514	22,780	734	9.9	9.6	22' 25"	23' 04"
女	21,620	21,139	481	8.2	8.0	24' 23"	24' 52"
(再掲) 乳児死亡	105	110	-5	2.2	2.4	83 : 39' 26"	79 : 38' 11"
新生児死亡	58	54	4	1.2	1.2	151 : 26' 54"	162 : 13' 20"
自 然 増 加	1,561	2,474	-913	0.3	0.5	...	...
死 産	1,424	1,451	-27	29.6	30.3	6 : 10' 07"	6 : 02' 14"
自然死産	530	534	-4	11.0	11.2	16 : 34' 25"	16 : 24' 16"
人工死産	894	917	-23	18.6	19.2	9 : 49' 32"	9 : 33' 10"
周産期死亡	201	202	-1	4.3	4.3	43 : 42' 05"	43 : 21' 59"
妊娠満22週以後の死産	159	157	2	3.4	3.4	55 : 14' 43"	55 : 47' 46"
早期新生児死亡	42	45	-3	0.9	1.0	209 : 08' 34"	194 : 40' 00"
婚 姻	30,017	29,486	531	6.0	5.9	17' 33"	17' 50"
離 婚	11,037	11,115	-78	2.20	2.22	47' 45"	47' 17"

	平成20年	平成19年
合計特殊出生率2)	1.37	1.34
年齢調整死亡率3) 男	5.8	5.8
女	2.8	2.9

- 注1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 2) 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
- 3) 年齢調整死亡率（人口千対）は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標である。